

中泊119

平成18年1月号

火事/救急/救助は
119番
病院照会
57-4999番
中里消防署
57-2370番
小泊消防署
64-2375番

『年頭の挨拶』



中里消防署長
古川 明通

平成十八年の新年を迎え、中泊町民の皆様には、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、地震や台風の上陸も少なく、中泊町においても人命に係わるような大きな災害はありませんでしたが、八、九月の集中豪雨による小泊地域での水害や土砂崩れなどが発生しております。火災では、中里消防署管内だけで十一件が発生し三名の尊い命が失われております。火災は一人一人が気を付ける事により、防ぐ事が出来ます。今年こそは、火災の無い明るい中泊町でありますよう願っております。中里・小泊消防署は昨年三月に五所川原地区消防事務組合との再編を行いました

職員一同は新たな気持ちで、地域住民の安全で安心した生活を守るため、消防業務に取り組みまいりますので、町民皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。終りに、町民皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

『消防水利の除雪』

これから本格的な降雪期を迎えますが、中里消防署では火災の時に万全を期するためにも常に当番、非番を問わず消防水利の除雪をしますが、吹雪の時はほんの数時間でスッポリ雪で隠れてしまう事が度々あります。家の周りの雪片付けの時には、付近にある消火栓、貯水槽の除雪をしていただければ幸いに思えます。また、夏場と違い、ゴミの出す場所も無くなり、よく消火栓などのそばにゴミが山積みとなっているのも見受けられます。路上に駐車する人は、道路が雪で狭くなっていますので

緊急車両が通れるよう考慮して下さい。皆さんの協力で火災の被害を最小限に食い止めるためにも、宜しく願います。

『冬季間の屋外はご注意を！』

今の時期、屋外での仕事や雪片付け、道路の横断などは非常に危険が隠れています。普段は何でもない路面が凍っていて気が付かないで足を滑らせて転倒する。また、雪片付け中、早く作業を終わろうとして無理に重い雪を片付けて腰を痛めるといふ具合に考えればいくらでも、危険が見え隠れします。これらの例を踏まえて転倒などには十分気を付けましょう。



〔雪の落ちそうな屋根〕

消防署見学 武田小学校



〔説明を聞いている生徒達〕

11月29日に武田小学校の3年生が、庁舎と車両等の見学に訪れました。

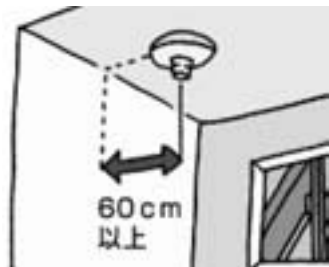
生徒の皆さんは、消防職員の説明を真剣に聞き、積極的に質問をし、メモ用紙には聞いた事や質問したことをたくさん書きとめていて、とても熱心に学習していました。

目で見える住宅用火災警報器の取付位置

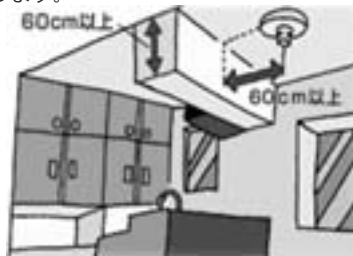
【取付位置】

<天井の場合>

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。

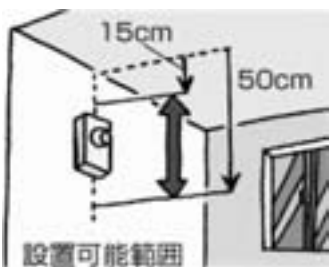


はりなどがある場合の取付は…火災警報器の中心をはりから60cm以上離します。



<壁の場合>

天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるようにします。



エアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離します。



詳しくは、中里消防署まで。